

## 日米株式は共に大幅反発 - 堅調な米経済指標や好決算等を好感

## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	10月16日	10月15日	前日差
日本 日経平均株価(円)		22,549.24	22,271.30	277.94
- CME日経平均先物(円)		22,880.00	22,265.00	615.00
TOPIX(東証株価指数)		1,687.91	1,675.44	12.47
米国 NYダウ(米ドル)		25,798.42	25,250.55	547.87
S&P500		2,809.92	2,750.79	59.13
ナスダック総合指数		7,645.49	7,430.74	214.75
ドイツ DAX®指数		11,776.55	11,614.16	162.39
商品	(単位:米ドル)	10月16日	10月15日	前日差
原油 WTI先物(期近物)		72.17	71.78	0.39
10年国債利回り	(単位:%)	10月16日	10月15日	前日差
日本		0.145	0.140	0.005
米国		3.164	3.157	0.007
ドイツ		0.491	0.503	-0.012
オーストラリア		2.712	2.692	0.020
為替(対円)	(単位:円)	10月16日	10月15日	前日比%
米ドル		112.25	111.77	0.43
ユーロ		129.94	129.42	0.40
- ユーロ(対米ドル)		1.1574	1.1579	▲0.04
オーストラリア(豪)ドル		80.17	79.70	0.59
インドルピー		1.5278	1.5140	0.91
ブラジルレアル		30.143	29.916	0.76
トルコリラ		19.733	19.314	2.17

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

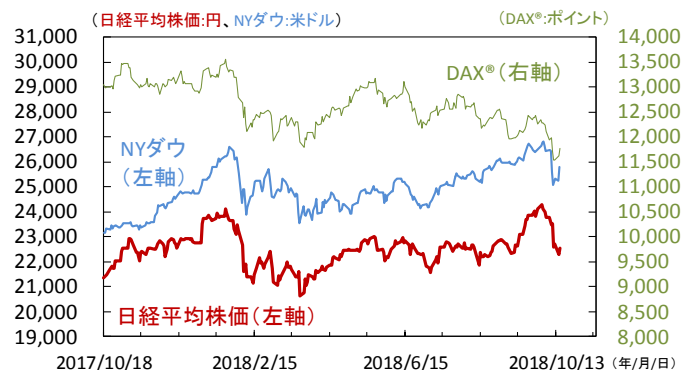
出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## ◆マーケットの動き:

米主要3株価指標は揃い大幅反発。米9月生産(前月比+0.3%)や8月JOLTS求人件数(713.6万件と最高値)など予想上回る堅調な経済指標、ゴールドマン・サックスやソフト大手アドビ等の好決算受けほぼ全面高。イタリア連立政権は19年度予算案を欧州委員会へ提出。米ポンペオ国務長官はサウジアラビアのムハンマド皇太子と会談する等、諸問題の事態進展も市場に安心感。

- 日本株も大幅反発。麻生財務大臣が日米通商交渉に為替の議論は入らないと発言、ドル円反発を好感。
- イタリア10年国債利回りは0.09%pts低下し3.45%。欧州委員会の同国予算案への反応が出るまで小康状態か。
- ポンペオ国務長官とムハンマド皇太子は、在米記者の事故死巡り徹底調査で合意との報道。一旦幕引きか。
- EU(欧州連合)側の英国離脱交渉役バルニエ氏、英国のEU離脱移行期間の1年延長に前向きとの報道も。

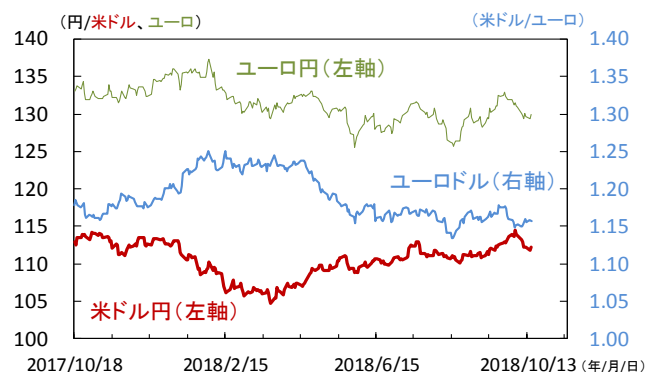
## 主要国株式の動き



## 主要国金利の動き



## 主要通貨の動き



注) 上記3図の直近値は2018年10月16日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## ◆本日の注目点:

## 米FOMC(連邦公開市場委員会)議事録が公表

2.25%(上限値)へ利上げした9月FOMC議事録が本日公表。注目は声明文から「緩和的」とした金融政策の姿勢を示す文言を削除した理由。純粋に将来の物価加速への懸念?或いは高値圏(当時)の株価は利上げペースが遅すぎるためとの懸念からか?後者ならば、利上げペース加速との見方が増える恐れも。(徳岡)

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
TOPIX（東証株価指数）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。  
ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会